

# 原料費調整制度に基づく

## 令和 8 年 2 月のガス料金のお知らせ

令和 7 年 12 月 26 日

上越市ガス水道局

上越市ガス水道局は、「原料費調整制度」に基づいて令和 8 年 2 月検針分に適用される調整単位料金を、別紙のとおりとさせていただきます。

今回のガス料金の調整は令和 7 年 9 月～令和 7 年 11 月の L N G 平均価格及び L P G 平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格に基づくものです。

また、このたびの調整には、電気・ガス料金負担軽減支援事業（※）を踏まえ、原料費調整後の単価から 1 m<sup>3</sup> 当たり△18.0 円の値引きが反映されています。

令和 8 年 2 月検針分に適用する料金は、広報上越 2 月号で記事を掲載し、検針時に各戸にお届けする「ガス水道使用量のお知らせ（検針票）」等でお知らせいたします。

※詳細は、経済産業省資源エネルギー庁の特設サイトをご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>)

以上

<お問い合わせ先>

上越市ガス水道局 総務課料金出納係

TEL 025-522-5518

## 料 金 表（令和８年２月）

一般契約料金（各月のご使用量に応じてＡ・Ｂ・Ｃいずれかの料金表が適用されます）

基準単位料金に対しては △51.42 円（税込）下方調整して料金を算定します。

また、基本料金は変わりません。

区 分	料金表Ａ	料金表Ｂ	料金表Ｃ
月間使用量	0～25m <sup>3</sup>	26～150m <sup>3</sup>	151m <sup>3</sup> ～
基本料金 （円／月）	374.00	418.00	638.00
調整単位料金 （円／m <sup>3</sup> ）	126.57	124.80	123.34

※ 調整単位料金は、政府の支援で、△18.0円値引きされています。

### 【ガス料金の計算式】

1 か月のガス料金 ＝ 基本料金 ＋ ガス使用量 × 基準単位料金（原料費調整制度に基づく  
単位料金の調整を行う場合は、その調整単位料金）

（上記計算の結果、1 円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標 準 家 庭 に お け る 影 響

1 か月の ご使用量	令和８年２月 適用料金	令和８年１月 適用料金	増減額	増減率
31m <sup>3</sup>	4,286 円／月	4,852 円／月	△566 円／月	△11.7%

※ 当市におけるご家庭の１件１か月当たり平均使用量 31m<sup>3</sup>（45.0 メガジュール／m<sup>3</sup>）に基づいて算出しています。

※政府の支援により、558円（＝31m<sup>3</sup>×18.0円）が値引きされています。

### 【参考】

1 か月の ご使用量	令和８年２月 適用料金	令和８年１月 適用料金	増減額	増減率
100m <sup>3</sup>	12,898 円／月	14,723 円／月	△1,825 円／月	△12.4%

※政府の支援により、1,800円（＝100m<sup>3</sup>×18.0円）が値引きされています。

<お問い合わせ先>

上越市ガス水道局 総務課料金出納係

TEL 025-522-5518 内線 311

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	令和 7 年 9 月～令和 7 年 11 月 (令和 8 年 2 月検針分に適用)
平均原料価格※ <sup>1</sup>	83,660 円／ $t$
基準平均原料価格※ <sup>2</sup>	124,190 円／ $t$

※ 1 平均原料価格＝LNG 平均価格×0.9748＋LPG 平均価格×0.0405

※ 2 基準平均原料価格は、料金改定時に設定（令和 4 年 6 月から 8 月までの LNG 平均価格 123,110 円×0.9748＋令和 4 年 6 月から 8 月までの LPG 平均価格 103,230 円×0.0405）

### ◆ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}\text{LNG 平均原料価格} &= \text{LNG 平均価格（令和 7 年 9 月～令和 7 年 11 月貿易統計値）} \times 0.9748 \\ &= 82,650 \text{ 円／} t \times 0.9748 \\ &= 80,567.220 \text{ 円／} t\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{LPG 平均原料価格} &= \text{LPG 平均価格（令和 7 年 9 月～令和 7 年 11 月月貿易統計値）} \times 0.0405 \\ &= 76,410 \text{ 円／} t \times 0.0405 \\ &= 3,094.605 \text{ 円／} t\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{平均原料価格} &= \text{LNG 平均原料価格} + \text{LPG 平均原料価格} \\ &= 80,567.220 \text{ 円／} t + 3,094.605 \text{ 円／} t \\ &= 83,661.825 \text{ 円／} t \\ &\quad \downarrow \text{（10 円未満四捨五入）} \\ &= 83,660 \text{ 円／} t\end{aligned}$$

### ◆ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 83,660 \text{ 円／} t - 124,190 \text{ 円／} t \\ &= \Delta 40,530 \text{ 円／} t \\ &\quad \downarrow \text{（100 円未満切捨て）} \\ &= \Delta 40,500 \text{ 円／} t\end{aligned}$$

### ◆ 調整単位料金（1 $m^3$ あたり）の算定（一般契約 B 区分の場合）

$$\begin{aligned}\text{調整単位料金} &= \text{基準単位料金} + (0.075 \text{ 円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円}) \times 1.1 \\ &= 176.22 \text{ 円} + (0.075 \text{ 円} \times \Delta 40,500 \text{ 円} / 100 \text{ 円}) \times 1.1 \\ &= 176.22 \text{ 円} + \Delta 33.4125 \text{ 円} \\ &= 176.22 \text{ 円} + \Delta 33.42 \text{ 円（小数点第 3 位以下切上げ）} \\ &= 142.80 \text{ 円}\end{aligned}$$

### ◆ 政府の支援による特別措置（1 $m^3$ 当たり 18.0 円値引き）

$$\text{特別措置後の調整単位料金} = 176.22 \text{ 円} + (\Delta 33.42 + \Delta 18.0 \text{ 円}) = 124.80 \text{ 円}$$

※ 原料価格変動額 100 円につき基準単位料金単価を 1 $m^3$  当たり 0.0825 円（0.075 円に 1.1 を乗じた値）調整します。

上記計算の結果、基準単位料金単価に対し、1 $m^3$  当たり  $\Delta 51.42$  円（税込）下方調整します。